

社団法人日本テニス事業協会 顧問

衆議院議員 石原 伸晃



この度は、社団法人日本テニス事業協会が、協会設立10周年を迎えられましたことに心よりお慶び申し上げます。

併せて、貴協会の活動にご尽力されている関係各位の方々に、心より敬意を表させていただきます。

貴協会は、「テニス事業の健全な発展を図り、もって国民生活の向上に寄与すること」を目的として活動されていると伺っています。

我が国では本格的な高齢化社会を迎え、健康の維持に関心を寄せる人々が少なくありません。

練習を通して健全な精神を培うことのできるスポーツは、青少年の育成にも大変役立っています。

また、テニスコートを始めとする広々としたスポーツ施設は、地域社会のコミュニケーションの「場」であると同時に、都市部で減少しつつある緑地や災害時の非難場所等として公共的役割を担っていることは、言うまでもありません。

数あるスポーツの中でも老若男女を問わず、従来より愛好されてきたテニスは、国民生活に密着したスポーツの典型です。このようなテニスを事業としてとらえ、国民生活の向上に貢献されている皆様の努力には頭の下がる思いです。

残念なことに、スポーツ愛好者が増える一方で高額な固定資産税や相続税、少子化など、民間スポーツ事業者を取り巻く環境は厳しさを増しています。貴協会におかれても、民間スポーツ施設存続のための税制の特例措置を要望する署名運動を行っておられると伺っておりますが、その様な活動も含め、貴協会には日本スポーツ界の更なる発展のために今後ともご尽力いただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、雑賀昇会長を始めとする会員の皆様のご健勝と、貴協会の益々のご発展をご祈念申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。